

A decorative graphic featuring a vertical grey line on the left, a horizontal blue line at the bottom, and a diagonal blue line on the right. A series of five blue circles of increasing size are arranged in an upward-sloping arc from the bottom left towards the top right. The largest circle at the bottom right contains the text '第4章'.

# 第4章

## CO<sub>2</sub>削減重点 プロジェクト

区が取り組む施策の中から、重要かつ短期的に取り組むべきものを、以下に具体的に示します。

#### 1. みんなで取り組むCO<sub>2</sub>削減区民運動

区民生活に密着した、身近なところにおける省エネを進めます。

#### 2. 地球温暖化防止設備の導入支援

新エネルギー、再生可能エネルギー、高効率機器導入の補助をします。

#### 3. 地球温暖化防止相談窓口の開設

省エネルギーの方法やそれにかかわる情報を提供します。

#### 4. 環境ふれあい館からの情報発信

リニューアルされる環境ふれあい館で、温暖化対策にかかわる講座や学習事業を実施します。

#### 5. 子どものうちから省エネ実践

環境教育を通して、子どもにも温暖化防止や省エネの大切さを伝えます。

#### 6. 事業者のCO<sub>2</sub>削減支援

中小企業を中心に、環境認証取得や高効率設備導入の支援を行います。

#### 7. まちづくりでCO<sub>2</sub>削減

開発指導要綱に温暖化防止の視点を盛り込む一方、省エネ設備導入を推進します。

#### 8. 環境にやさしい交通システムの整備

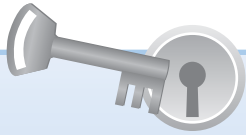
新タワーを中心とした地域一帯から、環境にやさしい交通システムを導入します。

#### 9. 緑化でCO<sub>2</sub>削減

緑化活動を更に推進すると共に、助成制度などの広報活動を活発化させます。

#### 10. 雨水利用でCO<sub>2</sub>削減

雨水利用のメリットの更なる周知に努め、助成制度などの広報活動を活発化させます。



## 1. みんなで取り組むCO<sub>2</sub>削減区民運動

地球温暖化は、すべての区民が日々の暮らしのなかで使う様々なエネルギーを省エネ行動によって地道に削減しなくては防ぐことはできません。区では区民・事業者・区が協働して実践できるような温暖化防止対策を具体的に示し区民運動として展開していきます。

### みんなで取り組むCO<sub>2</sub>削減区民運動

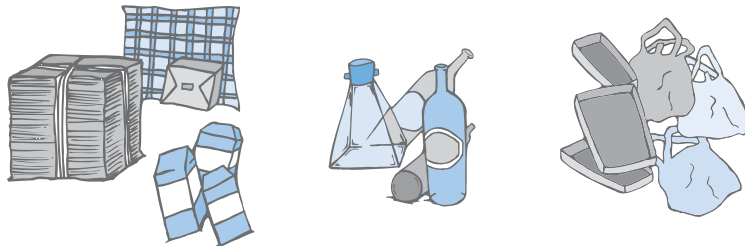
「CO<sub>2</sub>削減チェックリスト」からCO<sub>2</sub>を削減するための項目を選択して、前年よりもガス・電気・水道使用量を減らす区民運動に参加していただきます。

さらに、リストの内容を充実させるため家庭や職場で実践して効果を上げている省エネ・省資源のアイデアを募集し、優秀なアイデアは区民ができる省エネ行動として「CO<sub>2</sub>削減チェックリスト」に加えます。

### みんなで取り組むごみ減量

ごみを削減してCO<sub>2</sub>を削減するためには、まず廃棄物そのものを発生させないこと、次にリサイクル、そして適正な処理をすることが重要です。

区では、CO<sub>2</sub>等の温室効果ガス削減のために、ごみ削減という視点だけでなく、製品の製造や使用段階のエネルギー消費の小さいものを選ぶグリーンコンシューマーを育成していくことをめざします。



#### ① グリーンコンシューマーの育成

環境に負荷をかけない商品選びなど、広い視野をもつ消費者の育成をめざします。例えば、省エネ型の電化製品、温室効果の高い代替フロン<sup>27</sup>を使わない冷蔵庫、消費される地域で露地栽培された野菜、環境負荷の少ないハイブリッド車など、環境にやさしい商品を購入し、逆に環境に負荷をかけるような商品は買わないよう、啓発していきます。

#### ② エコストア<sup>28</sup>など商店の育成

レジ袋の削減を始めとした環境に配慮した商店づくりについて区内の商店や大型スーパーなどに協力を呼びかけます。

27 オゾン層を破壊することを理由に、製造が禁止された従来型のフロンガスは「特定フロン」と呼ばれるが、その代わりとなる新しいフロンが「代替フロン」である。現在主要となっている代替フロンはHFC（ハイドロフルオロカーボン）で、オゾン層を破壊しないが、CO<sub>2</sub>と比較して百数十倍〜一万倍以上と非常に高い温室効果が問題視されている。

28 エコストアとは、環境保全に配慮している商店等として区が認定したもの



### 地球温暖化防止のためのイベントを開催

区民・事業者・区が協働して全区的な環境イベントを開催し、様々な環境への取り組みを区民運動として推進します。

### ◆ 二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を1日1kg削減するCO<sub>2</sub>削減区民運動にご参加ください! ◆

「みんなで取り組むCO<sub>2</sub>削減区民運動」で実行する省エネ行動をまとめた「CO<sub>2</sub>削減チェックリスト」は以下のとおりです。このチェックリストの中で実際に行う省エネ行動のCO<sub>2</sub>削減量を積み上げ1日1kgの削減を目指しましょう。

家庭のCO <sub>2</sub> 削減チェックリスト	CO <sub>2</sub> 削減量	
	g/日	
<input type="checkbox"/> 1 暖房は20℃、冷房は28℃を目安に温度設定する	114	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 2 電気カーペットは部屋の広さや用途にあったものを選び、温度設定をこまめに調節する	626	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 3 冷暖房機器は無駄につけばなしをしない	82	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 4 白熱球を電球型蛍光灯に買い換える	80	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 5 人のいない部屋の照明は、こまめに消灯する	20	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 6 テレビをつければなしにしたまま、他の用事をしないようにする	42	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 7 洗いのをする時は、給湯器の温度設定をできるだけ低くする	57	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 8 冷蔵庫の庫内の温度調整をしたり、ものを詰め込み過ぎないように整理整頓する	108	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 9 冷蔵庫の扉は開閉を少なくし、開けている時間を短くする	17	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 10 電気ポットは夜間など、長時間使わない時には、コンセントからプラグを抜く	110	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 11 洗濯する時は、まとめて洗う	6	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 12 お風呂は、間隔をおかずに入るようにして、追い焚きをしないようにする	246	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 13 シャワーはお湯を流しっぱなしにしない	60	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 14 温水洗浄便座は温度をひかえめに設定し、使わない時はふたを閉める	111	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 15 アイドリングストップを実施する	106	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 16 エコドライブを実施する	183	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 17 タイヤの空気圧は適正に保つ	98	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 18 電気製品は、使わない時はコンセントからプラグを抜き、待機時消費電力を少なくする	171	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 19 電気、ガス、石油機器などを買う時は、省エネルギータイプのものを選ぶ	404	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 20 緑のカーテン(壁面緑化)を導入する	62	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 21 太陽光発電を新たに設置する	3,077	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 22 太陽熱温水器を新たに設置する	1,671	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 23 住宅の断熱を強化する	1,978	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 24 給湯器を高効率給湯器(CO <sub>2</sub> 冷媒ヒートポンプ型)に買い替える	607	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 25 給湯器を高効率給湯器(潜熱回収型)に買い替える	208	<input type="text"/>
実行する項目を合計して1日1kg削減にチャレンジ!	10,244	<input type="text"/>



## 2. 地球温暖化防止設備の導入支援

家庭における温室効果ガス排出量を削減するにあたって、区民のみなさんの日々の暮らしの中での省エネ行動はとても重要です。さらなる地球温暖化防止対策を進めるためには、太陽光発電や太陽熱温水器を導入したり、エネルギー消費量の大きい給湯器を効率の高いものに更新したりすることで、いっそう省エネを進めることができます。

区では、設置時に必要な費用の一部を助成するなどの支援により、確実に省エネにつながる機器の導入を促進します。

### 設備導入の補助等

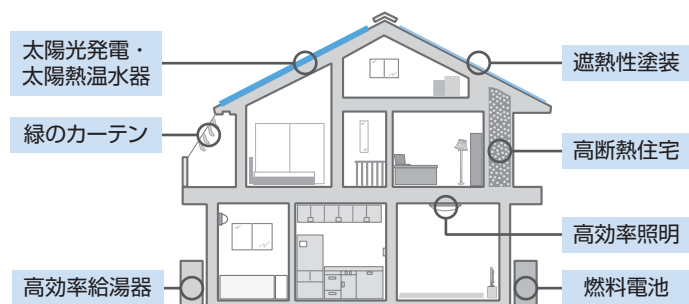
以下の設備の導入について補助制度の創設などを検討していきます。

#### ① 建物の地球温暖化対策

- ・建築物の断熱リフォーム（建築物の省エネ化）  
壁、窓、扉の断熱化を図り冷暖房効率を向上させて省エネ化を図ります。
- ・遮熱性塗装（建築物の省エネ化）  
建築物の屋上や壁面に遮熱性塗装を施し建築物の蓄熱を防ぐことで、ヒートアイランド対策と地球温暖化対策になります。

#### ② 暮らしの中の地球温暖化対策

- ・太陽光発電システム（新エネルギー、再生可能エネルギー）  
太陽光で発電した電気で暮らしの電気エネルギーをまかさないです。
- ・太陽熱温水器（新エネルギー、再生可能エネルギー）  
太陽熱を利用して温水を作り給湯に係るエネルギーを節約します。
- ・住宅用 CO<sub>2</sub> 冷媒ヒートポンプ給湯器（高効率機器）  
高効率機器で給湯に係るエネルギーを節約します。
- ・住宅用潜熱回収型給湯器（高効率機器）  
高効率機器で給湯に係るエネルギーを節約します。
- ・住宅用ガス発電給湯器（高効率機器）  
高効率機器で発電と給湯を行いエネルギーの節約をします。
- ・家庭用燃料電池（高効率機器）  
燃料電池で発電と給湯を行いエネルギーの節約をします。





### 3. 地球温暖化防止相談窓口の開設

地球温暖化を防止するためには「何をすればいいかわからない」といった疑問・質問に答えるため、省エネや温暖化防止に関する相談窓口を開設します。さらに様々な広報媒体を通じて地球温暖化防止対策情報を提供します。

#### 地球温暖化防止に関する総合相談窓口の開設

地球温暖化防止に関する様々な取り組み方法や各種情報を整理して提供します。

例えば、温暖化防止設備に関する補助金の相談や、国や東京都による省エネ支援制度に関する情報、住宅・建築物における省エネに関する情報、省エネ家電製品を選択する際のポイントなどの情報を提供します。

また、白熱球型蛍光灯、エコタップ、節水型シャワーヘッド、保冷カーテン（冷蔵庫用）といった省エネグッズをご紹介します。



白熱球型蛍光灯



エコタップ



節水型シャワーヘッド

(出典) 省エネルギーセンター（白熱球型蛍光灯，エコタップ），TOTO 株式会社（節水型シャワーヘッド）

#### 遮熱性塗装の見本コーナー設置

墨田区ではヒートアイランド現象の軽減につながる、遮熱性塗装の導入を推進していますが、その見本コーナーを用意することを検討します。

#### ホームページのリニューアル開設

環境保全課のホームページを拡充する形で、地球温暖化防止に関する総合ホームページをリニューアルして開設します。このホームページを通して、地球温暖化防止に関する様々な情報を発信していきます。

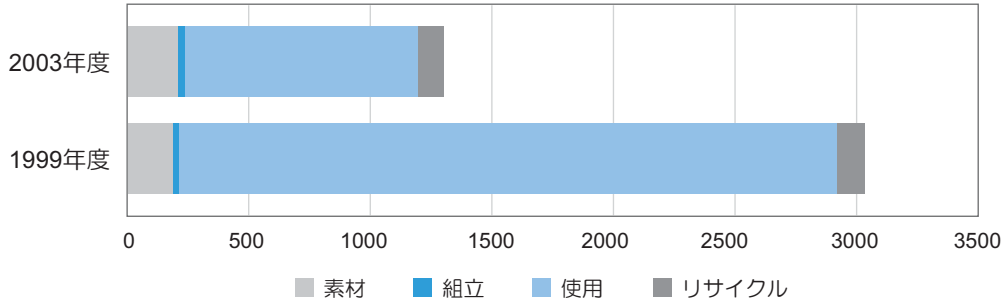
#### 普及啓発

地球温暖化対策地域推進計画概要版に、すぐできる取り組みとして「CO<sub>2</sub>削減チェックリスト」を掲載します。また、「墨田区のお知らせ」やケーブルテレビの区政番組など様々な媒体を通じて地球温暖化に関する情報を提供します。

◆ 家電製品の買い替えは「もったいない」? ◆

「古くてもまだ動く家電製品は、使い続けたほうが環境に優しい。廃棄する際にも、エネルギーが別途必要になる。」このように考える方は少なくないのではないでしょうか。もちろん廃棄時にもCO<sub>2</sub>は排出されますが、家電製品の生産から廃棄までの全CO<sub>2</sub>排出量から見ると僅かで、その多くは使用時に排出されています。

電気冷蔵庫のCO<sub>2</sub>排出量の例(kg-CO<sub>2</sub>)



(出典) 経済産業省資料「電機電子産業における地球温暖化対策の取り組み」

また、古い家電製品と最近のものを比較すると、使用時におけるCO<sub>2</sub>排出量が大きく減少しているケースが多くなっています。つまり、古い家電製品を適切な時期に省エネ型に買い換えた方が、トータルで省エネ・CO<sub>2</sub>排出量削減になります。



## 4. 環境ふれあい館からの情報発信

新タワーの建設と周辺地域の再開発に伴い、環境ふれあい館も同地域に移築され、環境体験学習施設としての役割をこれまで以上に発揮していきます。新タワー周辺エリアを「環境先進モデル地区」として、新たな「環境ふれあい館（仮称）」を中心に、地球温暖化対策をはじめとした様々な環境モデル事業を展開し、地区及び区全体に波及させるとともに、区外にも情報発信していきます。

### 地球温暖化防止講座の開設

環境ふれあい館では、以下のような講座の開設をめざします。

#### ① 地球温暖化対策地域推進マイスター養成講座（仮称）

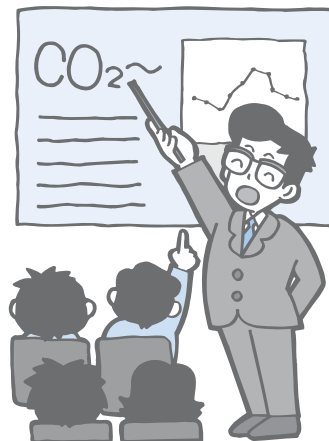
自ら行うことを基本とし、自然エネルギー、省エネ・省資源、雨水利用、クール技術、廃棄物の循環・再生利用など多様な地球温暖化対策技術のスキルの獲得と地域へ貢献できる人材育成をねらいとします。

#### ② 環境体験学習プログラム

大人から子どもまでの省エネ・省資源に関する環境体験事業を実施します。

#### ③ ヒートアイランド及び地球温暖化防止教室

夏休みや春休みの子どもたちに向けた、省エネ・省資源に関する環境体験学習事業を実施します。



### 地球温暖化に関する展示

環境ふれあい館では、すみだらしさのある展示をめざします。

#### ① 常設展示

雨水利用をはじめ、特色ある環境の取り組みや世界の最新情報の展示を行います。

#### ② 企画展示

地球温暖化対策地域推進マイスター養成講座、及び地球温暖化対策に関する環境体験学習事業の成果など、多彩な展示を行ないます。



## 地域の特徴を活かした環境体験学習事業

### ① 川を活かした環境体験学習事業

大横川など新タワー周辺の河川を活かした、ビオトープ環境体験学習事業とその成果を展示することをめざします。

### ② 新タワー地区を活かした環境体験学習事業

「環境先進モデル地区」の環境モデル見学ツアーをめざします。

## 環境コミュニティ（地域の環境力づくり）

環境ふれあい館において環境ボランティアを育成し、地域で環境体験学習事業等を実施することをめざします。



## 5. 子どものうちから省エネ実践

平成 16 年度に実施された「省エネに関する墨田区住民意識調査」によると、省エネに取り組むために区に期待することとして、「子どもたちにも（省エネに）関心を持って欲しい」という意見が寄せられています。実際、環境先進国と呼ばれる欧州では、環境教育がその他の科目と同様に行われます。墨田区では既に、環境学習教育プログラムや副読本を作成・配布するなどサポートを進めていますが、更にその内容を充実させていきます。

### フィフティ・フィフティプログラム

学校内で児童・生徒・教職員の省エネによって、削減された光熱水費の半分相当の予算を、学校に還元する「フィフティ・フィフティプログラム」等、子どもたちの省エネ意識を高めるしくみの導入を検討します。

### 地球温暖化防止教育

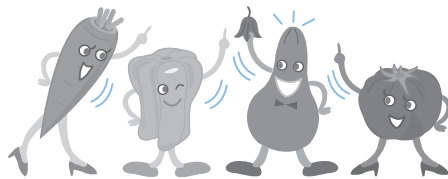
地球温暖化に関する教材を配布するなどさまざまな取り組みにより、子どもたちの地球温暖化防止の意識を向上させます。

### エコスクール

校庭の芝生化、校舎や校庭の遮熱性塗装の導入、太陽光発電などの自然エネルギー導入を推進し、地球温暖化対策、ヒートアイランド現象の緩和のため学校のエコスクール化を推進します。

### 食育

地球温暖化防止につながる「地産地消<sup>29</sup>」や「フードマイレージ<sup>30</sup>」といったことについて、食育を通して子どもたちに啓発していきます。



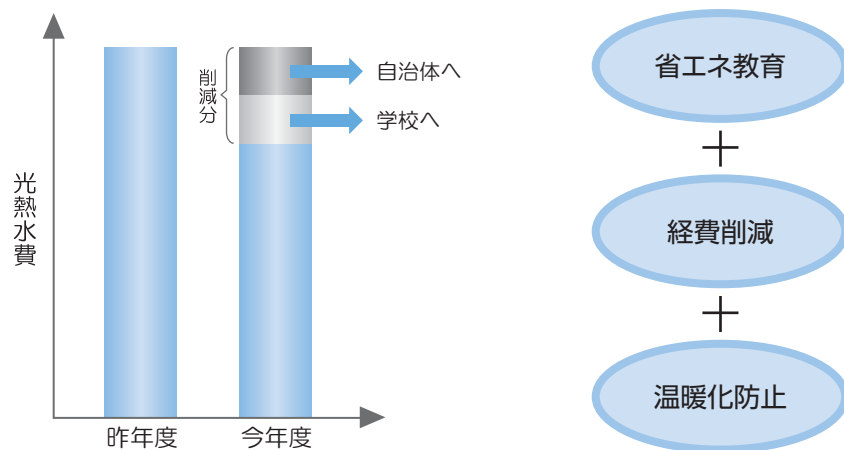
29 地産地消は「地域で生産されたものをその地域で消費すること」を基本とした活動のことです。産地から消費するまでの距離は、輸送コストや鮮度、地域内の物質循環といった観点から見て、近ければ近いほど有利なのですが、墨田区において「地産地消」を考える際の農産物の産地とは、「海外より日本」、「国内なら関東に近い産地」と捉えるべきでしょう。

30 フードマイレージとは、食べ物の輸送距離のことです。さらに食べ物の重さと輸送手段のCO<sub>2</sub>排出係数をかけることでCO<sub>2</sub>の排出量が計算できます。

### ◆ フィフティ・フィフティプログラム ◆

このプログラムは、「フィフティ・フィフティ」という名称でドイツで始まりました。そのしくみは、公立学校において、児童・生徒や教職員が協力して省エネ活動を行い、節減できた光熱水費を全て自治体の財政に戻すのではなく、半分はその学校に還元する、というしくみです。省エネ教育を行いながら、自治体の経費を削減し、地球温暖化防止にも貢献する、まさに「一石三鳥」のプログラムと評されています。

ドイツでは、これまで全国の2,000校以上で実施されており、環境教育としても大きな役割を担っています。還元されたお金を太陽電池パネルの設置や屋上緑化等、さらなる省エネのために投資する学校もあります。もしドイツ国内全ての学校がこの省エネプログラムに参加すると約100万トンものCO<sub>2</sub>が削減できると見込まれています。



◆ 図 4-1 芝生化した校庭





## 6. 事業者のCO<sub>2</sub>削減支援

区内の事業所では、将来的に温室効果ガスの排出量の増加が見込まれており、事業活動におけるCO<sub>2</sub>削減対策は重要です。小規模事業者の割合が高いという本区の特徴にあわせて中小企業に対する省エネ対策の支援を進めます。

### 環境認証取得支援

ISO14001、エコアクション21、エコステージ、グリーンプリンティング認定制度等の環境認証取得を支援します。

### 高効率設備の導入支援

地球温暖化防止に資する、商工業融資制度による資金融資に対する利子補助といったような導入支援制度の創設を検討し、事業者による温暖化防止への貢献をサポートします。

### 講座の開設

中小企業者向けに環境認証取得、省エネ・新エネ等をテーマとした講座を開設するとともに、これらに関する情報提供を進めていきます。

### 自動販売機のCO<sub>2</sub>削減

日本には約550万台の自動販売機が稼動しており、その電気の使用量は原子炉1基分に相当するといわれています。区内の電気使用量を抑制するため、自動販売機の効率的な運用方法などさまざまな温暖化対策を進めていきます。

## ◆ 各種環境認証について ◆

## ● ISO14001

ISO14001 は、組織活動、製品及びサービスの環境負荷の低減といった、環境パフォーマンスの改善を実施するしくみが継続的に運用される、システム構築に必要な事項を規定する国際標準規格です。日本における審査・認定は財団法人日本適合性認定協会が管轄しており、認証を取得した企業は、環境に配慮した事業活動を行なっていることを社会的に広くアピールすることができます。ISO14001 の取得は、電子電気業界を主体に始まりましたが、最近では自治体、商社、病院、銀行などにも広がり、取得団体数は大幅に増加しています。

## ● エコアクション 21

エコアクション 21 は、財団法人地球環境戦略研究機関が中心となり、中小企業、学校、公共機関などに対して、「環境への取組を効果的・効率的に行うシステムを構築・運用・維持し、環境への目標を持ち、行動し、結果を取りまとめ、評価し、報告する」ための、認証・登録制度です。中小企業等でも容易に取り組みうる環境経営システムとして知られており、環境への取組の推進だけでなく、経費削減や目標管理の徹底といった経営面、利害関係者に対する信頼性向上といったメリットが挙げられています。

## ● エコステージ

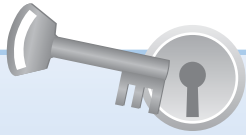
エコステージ (Eco Stage) は、ISO14001 の意図を踏まえつつ、それを補完し発展させることで、「経営とリンクした環境マネジメントシステム」の構築はもちろん、それを段階的に成長させることで、更に高度な経営管理システムの実現をも可能にする認証制度です。有限責任中間法人「エコステージ協会」が審査や登録を行なっており、初級から上級までの5段階のステージが設定されているという特徴があります。ISO14001 の取得には、コストや専任できる人材の確保など、特に中小企業には負担が大きい場合がありますが、エコステージは少ない負担で、組織のイメージ向上を図ることができます。

## ● グリーンプリンティング

グリーンプリンティング認定制度は、日本印刷産業連合会による認証制度で、同連合会の「オフセット印刷サービス」グリーン基準を達成し、認証を取得すれば認定マーク (GP マーク) を印刷物に表示できる制度です。グリーン基準では、製品の企画・印刷からデリバリーに至るまでの、全てのプロセスにおける環境への配慮が求められますが、GP マークによって、これらの取り組みを社会的にアピールすることができます。



GP マーク



## 7. まちづくりでCO<sub>2</sub>削減

「墨田区良好な建築物と市街地の形成に関する指導要綱」において、事業区域内の地上・屋上の緑地整備や雨水利用に関する規定を既に定めています。今後も引き続き、まちづくりの取り組みの中で、省エネルギーやヒートアイランド現象の軽減について検討します。

### 遮熱性塗装の普及

地球温暖化対策及びヒートアイランド対策として、大規模建築物に遮熱性塗装の施工を指導する等、地球温暖化対策及びヒートアイランド対策を強化することを検討します。

### 自然エネルギー導入

新築の建築物などに対し、太陽光発電システム等の自然エネルギー導入を推進します。

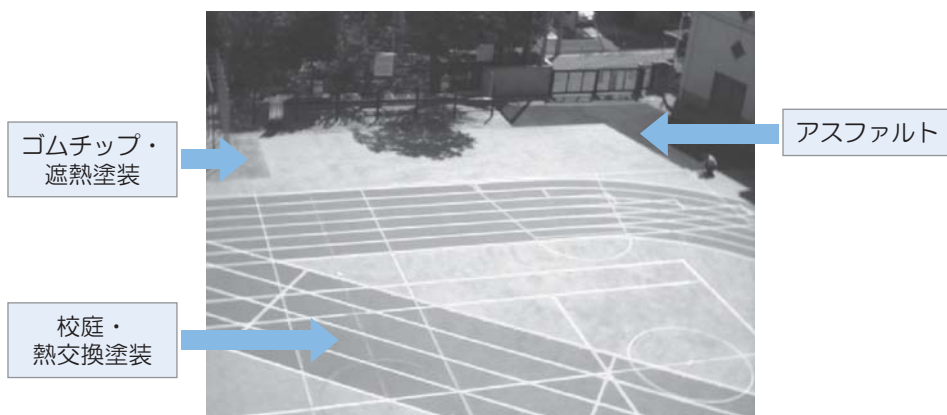
### 地域冷暖房導入

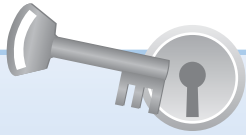
大規模開発に対して、地域冷暖房の導入を推進します。

### ヒートアイランド対策

雨水を地下に浸透させ、ヒートアイランド対策とするため保水性舗装などを施した道路や広場の整備を推進します。

◆ 図 4-2 遮熱性塗装を施工した校庭





## 8. 環境にやさしい交通システムの整備

新タワー開業にともない観光客の増加が予想されることから、公共交通手段の連携を強化し、低炭素社会に向けた環境負荷の小さい交通システムの整備を進めます。

### 新タワー効果による交通量増加に起因した環境負荷の低減

「人と地球にやさしい交通環境の整備」<sup>31</sup>として、循環バスの運行、水上バスの運行、レンタサイクルシステムの構築等、多様な交通手段の導入を推進します。

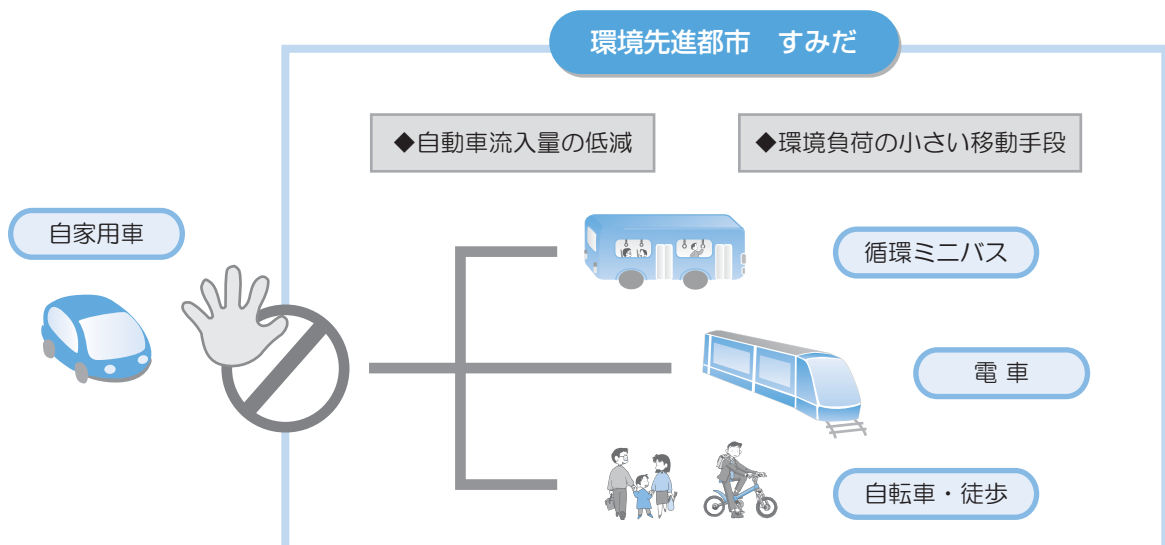
### 公共交通機関の利便性向上による自動車流入量の低減

公共交通機関の利便性を向上させ、自動車の使用を抑制するため、鉄道とバス等の連携強化、乗り換え案内、運行情報の提供、車両・駅等のバリアフリー化等を推進します。

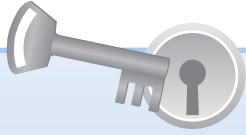
### 自転車や徒歩による移動

低炭素社会へ向けて環境負荷の小さな移動手段を取り入れやすくするため、レンタサイクル、道案内サインの導入などを検討し自転車や徒歩で移動したくなる街の整備を推進します。

図 4-3 区が推進する新しい交通システム



31 墨田区では、平成 23 年度に完成する新タワーを観光資源として活用し、「国際観光都市すみだ」を形成していくため、「墨田区観光振興プラン（改訂版）」と「墨田区観光まちづくり総合交通戦略」の策定を進めていますが、「人と地球に優しい交通環境」はこの墨田区観光まちづくり総合交通戦略のコンセプトです。



## 9. 緑化でCO<sub>2</sub>削減

区では、地上・屋上の緑地の整備を推進しており、さまざまな施策を展開しています。今後は、地上・屋上・壁面の緑の整備を更に推進させるとともに森林整備などの事業を充実させ、緑でCO<sub>2</sub>を削減することをめざします。

### 地上・屋上・壁面緑化

開発指導要綱による指導により、地上・屋上・壁面緑化の整備を着実に進めます。さらに余剰地をできるだけ緑化することでCO<sub>2</sub>の吸収とヒートアイランド現象の緩和を進めます。

### 助成制度

墨田区には屋上緑化や緑のへい（生垣や植樹帯）の助成といった制度があります。これらの制度をさらに周知し、緑化を一層推進します。

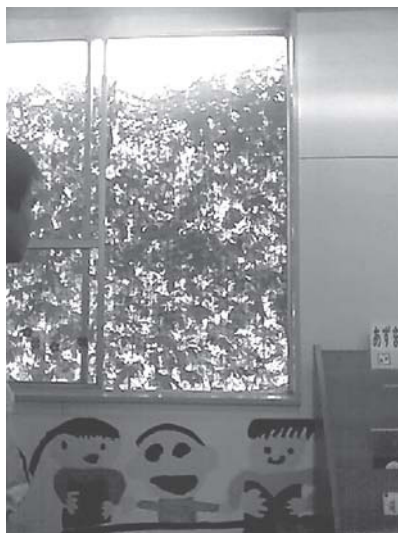
### 森林保全によるCO<sub>2</sub>吸収

郊外の森林の間伐や下草刈などの保全活動を通じて、緑を守る意識を育てるとともに森林の生育を図り、CO<sub>2</sub>吸収源である森林の拡大によって地球温暖化防止に貢献します。

### 「緑のカーテン」大作戦

緑のカーテンは、つる性植物の葉で窓を覆って夏の日差しが部屋に入るのを防ぎ、室温が上がるのを防ぐことで省エネができます。区では、緑のカーテン作り講習会を開催するとともにつる性植物の種や苗の配布を行い緑のカーテンの普及を支援します。

◆ 図 4-4 緑のカーテンで覆われた窓







## 10. 雨水利用でCO<sub>2</sub>削減

東京に降った雨のほとんどは地中にしみ込むことができず、一挙に下水道に集中するために「都市型洪水」を引き起こす原因となっています。墨田区では、雨と都市の共生をめざし、雨水の貯留・浸透及び利用に取り組んできました。今後は、雨水の利用及び浸透と緑化を一体的に推進し温室効果ガスの削減やヒートアイランド現象の緩和を進めます。

### 雨水利用による CO<sub>2</sub> 削減効果

雨水を有効利用すると、水道の使用量が減りますので、その分給水や浄水に必要なエネルギーが削減され、CO<sub>2</sub> 排出量を削減することができます。このように、雨水利用がCO<sub>2</sub> 対策になることや利用の方法、しくみを区民に広めます。

### 雨水利用・浸透の推進

墨田区では開発指導要綱に基づき、民間建築物の雨水の地下浸透と雨水貯留量の拡大を推進していきます。

### 助成制度

貯留タンクの種類ごとに助成制度を設けており、この制度の周知をさらに推進していきます。

### 雨水と緑を活用したヒートアイランド対策

雨水を屋上緑化や壁面緑化の灌水に利用することで建物を冷やし、冷房に使う電力を削減するとともに、水道水の使用量も削減しヒートアイランド対策と温室効果ガスの削減を推進します。さらに雨水の地下浸透を保水性舗装などにより推進し、ヒートアイランド現象の緩和を図ります。

